



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月27日

上場会社名 株式会社 小糸製作所

上場取引所 東

コード番号 7276

URL <http://www.koito.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三原 弘志

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 小長谷 秀治

TEL (03) 3443-7111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期 第1四半期	219,340	17.0	23,283	34.6	24,491	45.3	14,600	46.0
29年3月期 第1四半期	187,405	1.0	17,295	27.3	16,859	15.5	10,002	181.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 19,691百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △6,783百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期 第1四半期	90	86	90	82
29年3月期 第1四半期	62	25	62	22

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
30年3月期 第1四半期	664,035		394,603		52.4		2,164 72	
29年3月期	658,341		381,000		51.0		2,090 87	

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 347,856百万円 29年3月期 335,988百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20 00	—	34 00	54 00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期 (累計)	433,000	12.8	47,000	18.2	49,000	23.6	28,000	22.1	174 24	
通 期	876,000	4.1	96,000	3.8	99,000	3.8	60,000	5.8	373 38	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期1Q	160,789,436株	29年3月期	160,789,436株
30年3月期1Q	95,916株	29年3月期	95,791株
30年3月期1Q	160,693,603株	29年3月期1Q	160,693,787株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

(参考) 平成30年3月期の個別業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	161,000	17.1	18,000	41.7	30,000	30.3	20,000	21.6	124	46
通期	330,000	10.8	35,000	19.6	52,000	13.7	36,000	15.7	224	03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、雇用環境の改善を背景に個人消費の持ち直し、設備投資や輸出が増加したことから、緩やかな回復基調で推移いたしました。世界においては、米国・欧州経済は比較的堅調に推移、中国の成長鈍化や保護主義的政策への懸念、中東リスク等はあるものの、総じて堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内は、普通車の新車効果や軽自動車の販売回復、輸出の増加により、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。海外では、米国が若干減産のなか、アジア・欧州の需要増等により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は、新規受注の拡大、自動車ランプのLED化進展等に伴い、主力の自動車照明関連事業が増加となり、前年同期比17.0%増の2,193億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### 〔日本〕

自動車生産台数が増加するなか、新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展により、売上高は前年同期比20.8%増の814億円となりました。

#### 〔北米〕

自動車生産台数が若干減少となったものの、新規受注の拡大やLED化進展により、売上高は前年同期比6.8%増の471億円となりました。

#### 〔中国〕

自動車生産台数は小型車減税効果継続に伴い横這いで推移、新規受注の拡大等により、売上高は前年同期比18.8%増の587億円となりました。

#### 〔アジア〕

自動車生産台数が増加するなか、インドやタイ、インドネシアにおける新規受注の拡大、二輪車ランプのLED化進展等により、売上高は前年同期比17.6%増の212億円となりました。

#### 〔欧州〕

自動車生産は堅調に推移、新規受注の拡大やLED化進展により、売上高は前年同期比28.9%増の107億円となりました。

#### 〔その他〕

前期より、ブラジル生産子会社設立に伴いセグメント情報の区分に「その他」を追加しております。なお、ブラジル子会社は平成30年5月生産開始予定です。

利益につきましては、上記売上増の効果に加え、国内外における改善合理化を推進したことにより、営業利益は前年同期比34.6%増の232億円、経常利益は前年同期比45.3%増の244億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比46.0%増の146億円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ー1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期末の資産の残高は、現金及び預金など流動資産が増加したことに加え、海外生産増強に伴う設備投資など固定資産が増加したこともあり、前期末に比べ56億円増加の6,640億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の減等により、前期末に比べ79億円減少の2,694億円となりました。

純資産の残高は、利益剰余金が増加したこと等から、前期末に比べ136億円増加の3,946億円となりました。

#### ー2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益228億円、減価償却費74億円を主体に418億円となり、法人税等を支払った結果、302億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資94億円、及び定期預金の預入等を実施した結果、126億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等16億円、配当金等の支払い56億円等を実施した結果、72億円の支出となりました。

以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ111億円増加の506億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、世界の自動車生産台数が横這いのなか、国内外における新規受注の拡大や自動車ランプのLED化進展が見込まれることから、前期比増収の予想であります。

利益につきましては、研究開発強化の費用負担増はあるものの、増収効果等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全ての利益において、前期比増益の見通しであります。

なお、平成29年4月26日の決算短信にて公表いたしました平成30年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想(連結・個別)は以下の通り修正しております。

連結業績予想

(百万円未満切捨て)

平成30年3月期第2四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	418,000	42,000	43,000	25,000	155 58
今回予想(B)	433,000	47,000	49,000	28,000	174 24
増減額(B-A)	15,000	5,000	6,000	3,000	—
増減率(%)	3.6	11.9	14.0	12.0	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	383,720	39,748	39,646	22,929	142 69

平成30年3月期 通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	861,000	91,000	93,000	57,000	354 71
今回予想(B)	876,000	96,000	99,000	60,000	373 38
増減額(B-A)	15,000	5,000	6,000	3,000	—
増減率(%)	1.7	5.5	6.5	5.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	841,456	92,523	95,336	56,692	352 80

(参考) 個別業績予想

平成30年3月期 第2四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	154,000	14,000	26,000	18,000	112 01
今回予想(B)	161,000	18,000	30,000	20,000	124 46
増減額(B-A)	7,000	4,000	4,000	2,000	—
増減率(%)	4.5	28.6	15.4	11.1	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	137,505	12,700	23,017	16,442	102 32

平成30年3月期 通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	323,000	31,000	48,000	34,000	211 58
今回予想(B)	330,000	35,000	52,000	36,000	224 03
増減額(B-A)	7,000	4,000	4,000	2,000	—
増減率(%)	2.2	12.9	8.3	5.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	297,786	29,260	45,729	31,102	193 55

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	206,956	221,648
受取手形及び売掛金	136,251	124,427
電子記録債権	11,589	12,042
たな卸資産	66,332	67,393
繰延税金資産	4,558	4,596
その他	36,035	33,549
貸倒引当金	△843	△581
流動資産合計	460,880	463,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,829	42,713
機械装置及び運搬具（純額）	55,911	59,156
工具、器具及び備品（純額）	18,768	18,908
土地	14,718	14,684
建設仮勘定	9,310	8,994
有形固定資産合計	141,538	144,457
無形固定資産	1,985	1,920
投資その他の資産		
投資有価証券	46,889	47,810
破産更生債権等	60	60
繰延税金資産	5,522	5,229
その他	1,768	1,782
貸倒引当金	△302	△302
投資その他の資産合計	53,937	54,580
固定資産合計	197,460	200,958
資産合計	658,341	664,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	127,126	115,696
電子記録債務	16,366	18,600
短期借入金	21,885	21,028
未払費用	18,269	21,375
未払法人税等	15,122	8,933
賞与引当金	5,767	8,776
製品保証引当金	3,070	3,070
訴訟損失引当金	3,393	—
その他	11,987	17,702
流動負債合計	222,989	215,183
固定負債		
長期借入金	13,172	12,649
繰延税金負債	6,516	6,779
役員退職慰労引当金	363	375
製品保証引当金	5,201	5,201
環境対策引当金	193	193
退職給付に係る負債	26,838	26,806
その他	2,066	2,242
固定負債合計	54,351	54,248
負債合計	277,340	269,432
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,107	17,107
利益剰余金	278,755	287,891
自己株式	△87	△88
株主資本合計	310,045	319,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,562	22,165
為替換算調整勘定	4,572	6,754
退職給付に係る調整累計額	△192	△245
その他の包括利益累計額合計	25,942	28,674
新株予約権	291	291
非支配株主持分	44,719	46,454
純資産合計	381,000	394,603
負債純資産合計	658,341	664,035

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	187,405	219,340
売上原価	155,381	180,698
売上総利益	32,024	38,642
販売費及び一般管理費	14,728	15,358
営業利益	17,295	23,283
営業外収益		
受取利息	145	192
受取配当金	590	650
持分法による投資利益	2	6
その他	365	694
営業外収益合計	1,103	1,543
営業外費用		
支払利息	216	239
為替差損	1,145	—
その他	177	96
営業外費用合計	1,539	335
経常利益	16,859	24,491
特別利益		
固定資産売却益	6	18
特別利益合計	6	18
特別損失		
固定資産除売却損	93	127
投資有価証券評価損	32	—
独禁法関連損失	—	1,575
特別損失合計	125	1,702
税金等調整前四半期純利益	16,739	22,807
法人税、住民税及び事業税	4,697	5,857
法人税等調整額	408	597
法人税等合計	5,105	6,454
四半期純利益	11,633	16,353
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,002	14,600
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,630	1,753

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,457	653
為替換算調整勘定	△14,917	2,732
退職給付に係る調整額	△42	△47
その他の包括利益合計	△18,417	3,338
四半期包括利益	△6,783	19,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,724	17,331
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,058	2,359

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	16,739	22,807
減価償却費	7,036	7,449
持分法による投資損益(△は益)	△2	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	88	△266
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△121	△105
賞与引当金の増減額(△は減少)	472	2,995
受取利息及び受取配当金	△735	△842
支払利息	216	239
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	32	-
有形固定資産除売却損益(△は益)	87	109
独禁法関連損失	-	1,575
売上債権の増減額(△は増加)	16,005	12,719
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,539	△184
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,070	2,909
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,246	△10,680
未払費用の増減額(△は減少)	4,892	2,905
その他	662	184
小計	38,516	41,808
利息及び配当金の受取額	735	842
利息の支払額	△216	△239
法人税等の支払額	△6,698	△12,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,337	30,269
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△30,011	△36,139
定期預金の払戻による収入	29,789	32,665
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△42	△5
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△7,873	△9,477
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	△15	15
貸付けによる支出	△2	△0
貸付金の回収による収入	1	3
その他	△114	296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,267	△12,642
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,849	△1,053
長期借入れによる収入	875	503
長期借入金の返済による支出	△152	△1,100
自己株式の取得による支出	-	△0
親会社による配当金の支払額	△2,951	△5,020
非支配株主への配当金の支払額	△759	△627
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,836	△7,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,993	779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,241	11,109
現金及び現金同等物の期首残高	31,886	39,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	40,127	50,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	67,421	44,149	49,423	18,068	8,343	187,405	—	187,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,965	2	1,317	1,736	423	39,445	(39,445)	—
計	103,387	44,151	50,741	19,805	8,766	226,851	(39,445)	187,405
セグメント利益	7,681	4,087	2,963	2,243	1,217	18,194	(898)	17,295

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△898百万円には、セグメント間取引消去456百万円及び配賦不能営業費用△1,355百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …英国、チェコ

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)3
売上高									
外部顧客への売上高	81,472	47,146	58,722	21,241	10,758	—	219,340	—	219,340
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,654	8	833	1,773	398	—	50,667	(50,667)	—
計	129,126	47,154	59,555	23,015	11,156	—	270,008	(50,667)	219,340
セグメント利益又は損失 (△)	12,743	4,635	4,158	1,851	701	△35	24,055	(772)	23,283

(注) 1. セグメント利益又は損失(営業利益)の調整額△772百万円には、セグメント間取引消去572百万円及び配賦不能営業費用△1,344百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1) 北米 …米国、メキシコ

(2) アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3) 欧州 …英国、チェコ

(4) その他…ブラジル

前第3四半期連結会計期間より、ブラジルにおける連結子会社設立に伴い「その他」を報告セグメントに追加しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。